

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
身体障害作業療法治療学演習			必修	2	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
浅野 克俊 他		C313	k.asano		木・金曜日 16:30~17:30	
授業の目的・概要	これまで修得してきた各疾患の医学的知識・評価法に基づいて治療目標・治療計画が立案でき、臨床実習に必要な基本的な治療手技の実践と知識の習得が目的となる。この科目では、講義で基本的知識を習得し、演習で手技の習熟し、グループワークを通じて理解を深める。					
学習上の助言	治療・訓練は根拠をもって、安全かつ適切になされなければならない。それには知識・経験が必要となる。講義上で教授できる手技・知識は「最低限」であるため、能動的に学習してほしい。					
教科書	①身体機能作業療法学第3版/編:山口昇、玉垣努/医学書院/2016 ②運動療法エビデンスレビュー 松永 篤彦編 文光堂					
参考書	作業療法士のためのハンドセラピー入門 中田真由美・大山峰夫 三輪書店 脳卒中機能評価・予後予測マニュアル 編集 道免和久 医学書院 物理療法学 改訂第2版 松澤 正・江口勝彦 金原出版株式会社					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	作業療法でかかわる各疾患を説明できる				OT(2)	
②	それぞれの疾患、障害に対して作業療法計画を実施できる。				OT(2)、OT(3)	
③	作業療法目標に達成のための作業療法を実施できる。				OT(2)、OT(3)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)			
1.2	オリエンテーション ICF と作業療法の治療構造を学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等による授業	教科書①8-25 を理解し、指定した課題を提出する			5
3.4	運動機能の治療を学習する (ROM-ex) フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等による授業	教科書①76-86 を理解し、指定した課題を提出する			5
5.6	運動機能の治療を学習する (筋力増強-ex) フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等による授業	教科書①87-98、②61-65 を理解し、指定した課題を提出する			5
7.8	活動・参加の治療を学習する (運動学習と基本動作) フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等による授業	教科書①63-76 を理解し、指定した課題を提出する			5
9.10	運動機能の治療、基本動作の実技を学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等による授業	Microsoft Stream を使用し動画確認後、指定した課題を提出する			5
11.12	上肢機能の治療を学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等による授業	インターネット等使用し上肢機能訓練に関する論文等を読み課題を提出する			5
13.14	脳卒中の基本的な治療を学習する (筋緊張、知覚) フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等による授業	教科書①99-109,123-130 を理解し指定した課題を提出する			5
15.16	脳卒中の基本的な治療を学習する (不随意運動、協調運動、高次脳機能) フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等による授業	教科書①110-123,171-181 を理解し指定した課題を提出する			5
17.18	脊髄損傷の基本的な治療を学習する	面接授業・実技	教科書①191-214 を理解する。実技を復習する			3
19.20	内部疾患の運動療法全般について学習する	面接授業・実技	教科書①375-404、②208-235、274-312 を理解する。実技を復習する			2

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

21.22	骨折・加齢性関節疾患の基本的な治療を学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等による授業	教科書①216-238 を理解し、指定した課題を提出する	5
23.24	上肢の末梢神経損傷・腱損傷の基本的な治療を学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等による授業	教科書①261-297 を理解し、指定した課題を提出する	5
25.26	神経筋疾患・神経変性疾患の基本的な治療を学習する	面接授業・実技	講義 教科書①375-404、②336-373 を理解する。実技を復習する	2
27.28	事例基盤型学習（評価から治療手段の選択を学ぶ）	同時双方向型授業	1～26 回までの復習を行う。	5
29.30	事例基盤型学習（事例発表）	同時双方向型授業	事例発表の準備をする。	5
試	期末試験			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	0	40	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	0	0	20	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	15	0	0	15

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	教科書および配布資料などにより出題し、理解の程度を評価する。	試験後の解説を実施する
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①	課題発表の内容及びプレゼンテーションで評価を行う。	講義の中で実施する
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

備 考

担当教員：◎浅野 克俊、小沢 健一

実技は大学で行います。実技の際は実習着・靴を着用のこと。

受講態度に問題のある学生は退室してもらいます。

臨床医学（神経内科学，整形外科，内科学，高次脳機能学）の知識が必要となりますので，事前に復習しておくこと。

Teams を使用した同時双方向型授業やグループワークも行います。授業時は通信容量が無制限に使用できるインターネット環境を推奨します。

大学構内での授業受講に際して、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めません。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性があります。

教員の実務経験：本科目の担当教員は 10 年以上の臨床業務経験がある。

実践的授業の内容：テキストと併せて臨床における治療で得た知見に基づき作業療法に必要な基本的実技・知識を教授する